

平成 3 1 年度
福島市中心市街地活性化協議会
事業報告

1. 会議等の開催

(1) 協議会・運営会議の開催

開催年月日	内 容
平 3 1 . 4 . 2 3	<p>○第 3 0 回運営会議</p> <p>報 告</p> <p>(1) 第 2 期福島市中心市街地活性化基本計画(第 3 回変更)認定について</p> <p>議 事</p> <p>(1) 平成 30 年度事業報告及び収支決算について</p> <p>(2) 平成 31 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について</p> <p>(3) 役員改選について</p> <p>(4) 第 2 期福島市中心市街地活性化基本計画の 定期フォローアップ報告について</p> <p>(5) 第 3 期福島市中心市街地活性化基本計画の取り組みについて</p> <p>(6) 平成 31 年度福島市中心市街地活性化協議会の開催について</p> <p>(7) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくしまの顔づくり事業」について ・「風格ある県都を目指すまちづくり構想」を踏まえた取り組みについて
令元. 6 . 1 8	<p>○第 2 2 回協議会</p> <p>報 告</p> <p>(1) 第 2 期福島市中心市街地活性化基本計画の計画変更(第 3 回)認定について</p> <p>(2) 第 2 期福島市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップ 報告について</p> <p>議 事</p> <p>(1) 平成 30 年度事業報告について</p> <p>(2) 令和元年度事業計画(案)について</p> <p>(3) 役員改選について</p> <p>説 明</p> <p>「風格ある県都を目指すまちづくり構想」を踏まえた取り組みについて 福島市都市政策部都市計画課 課長 森 雅彦 氏</p>
令元. 8 . 9	<p>○第 3 1 回運営会議</p> <p>議 事</p> <p>(1) 第 3 期福島市中心市街地活性化基本計画策定に向けた 「ワーキンググループ」の開催について</p> <p>(2) 先進地視察会の開催について</p> <p>(3) まちづくり講演会の開催について</p>

(2) 分科会の開催

① 県庁通りリニューアル検討会

開催年月日	内 容
令元. 5. 25	○県庁通商店街振興組合主催による「夜見市」への支援（開催経費補助） 戦後、県庁通りには屋台が広がり、闇市としてにぎわっていた。その頃の時代の温度を思い出すような、あたらしく懐かしい夜市である「夜見市」を開催した。

2. 事業の実施

(1) 講演会の開催

開催年月日	内 容
令2.3.16 (中止)	○「リノベーションまちづくりセミナー」 空き家・空き店舗などの遊休不動産をリノベーション(建築物の用途や機能変更による性能向上)の手法を用いて再生することで、産業振興、雇用創出、コミュニティ再生、エリア価値向上を図ることを目的に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 会 場：ウェディングエルティ 講 師：(株)ブルースタジオ クリエイティブディレクター 大島芳彦 氏 参加者数：3/4 開催中止決定時点で申し込み 45 名

(2) 無料貸し傘サービス事業の実施

実施年月日	内 容
平31.4.1	○無料貸し傘サービス事業「ももりん貸し傘サービス事業」 (1)目的：福島駅前通りリニューアルによるアーケード撤去に伴う歩行者の利便性の確保と、大原綜合病院移転開院による福島駅から大原綜合病院の区間（シンボルストリート）の回遊性の向上。 (2)設置場所：1. 福島駅東口観光案内所 2. 中合 3. AXCビル（1階ししどやおや） 4. ウィズもとまち（1階） 5. チェンバおおまち（1階） 6. 大原綜合病院 7. こむこむ (3)設置本数：300本

(3) 中心市街地活性化懇談会の開催

福島市が示した「風格ある県都を目指すまちづくり構想」と福島駅東口再開発準備組合が示す再開発構想等に基づき、今後の持続して賑わう中心市街地のまちづくりに関する懇談会を開催した。

寄せられた意見は今後、市構想や福島駅東口開発構想に反映されるよう努めていく。

①令元.7.1(月)「木幡市長とのまちづくり懇談会」参加者 62 名（コラッセふくしま）

(4) 中心市街地活性化におけるワーキンググループの開催

2021 年度からの第 3 期中心市街地活性化基本計画の策定にあたり、市民の目線から望ましい活性化への取り組みを検討し、基本計画に反映させるため、まちづくり機関、旅客運送事業者、マスメディア、商店街、町内会、若手経営者、女性経営者、再開発事業者、大学生等 24 名構成で「ワーキンググループ」を開催した。

なお、コーディネーターに福島大学共生システム理工学類 准教授 川崎興太 氏と、アドバイザーに福島学院大学情報ビジネス学科長 教授 木村信綱 氏を据えて、支援を頂いた。

- | | | | |
|----------------|----------|----------------|----------|
| ①令元. 8. 27(火) | 参加者 21 名 | ②令元. 11. 22(金) | 参加者 19 名 |
| ③令元. 12. 17(火) | 参加者 18 名 | ④令 2. 1. 29(水) | 参加者 14 名 |
| ⑤令 2. 2. 27(木) | 参加者 17 名 | (会場：当所会議室) | |

(5) 先進事例視察会の開催

群馬県高崎市の高崎駅東口で動き出している、商業・ビジネス、ホテルの集積を目指す再開発事業等を視察。この地区では、令和元年9月に「高崎芸術劇場」が開館し、令和2年4月には群馬県が整備を進めてきた大型コンベンション施設「G メッセ群馬」が開館するなど集客施設の整備が進んでいる。

視察日：令和元年11月18日(月)

視察先：群馬県高崎市

「高崎駅東口栄町地区第一種市街地再開発事業」(高崎市市街地整備課より説明)

「G メッセ群馬」(群馬県経済産業部より説明)

「高崎芸術劇場」(劇場副館長他各担当者より説明)

参加人数：18名

(6) 桜の聖母学院中学校1年生の「総合的な学習の時間～校外学習」への協力

中学生が地域の一員として、変わりつつある中心市街地の現況を把握し、中心市街地の店主たちへの現状ヒアリングを目的とした校外学習に協力した。

開催日：令和元年10月8日(火)

参加者：19名

内 容：(1)中心市街地のまちづくり等について現況説明

(2)中心市街地の店舗訪問によるヒアリング

製造・小売業～光月堂、松北園茶舗

サービス業～福島コミュニティ放送FMポコ、ホテル東横イン福島駅東口I

報告形態：生徒たちは学習成果を壁新聞にまとめ、廊下に掲示して共有した。

3. 賑わい創出事業への支援(福島駅前から駅前通り商店街及び周辺商店街の活性化に関する事業)

(1) 福島駅前元気プロジェクト関係

- ・「Fukushima ハルフェス in えきまえ 2019」(H31.4.7)
- ・「Fukushima ナツフェス in えきまえ 2019」(R元.7.21)
- ・「Fukushima アキフェス in えきまえ 2019」(R元.9.15)
- ・「Fukushima フユフェス in えきまえ 2019」(R元.11.20)

4. 関係会議等への出席

- ・株福島まちづくりセンターとの連携
 - (1)取締役会・株主総会への出席
 - (2)中心市街地の空き地・空き店舗対策事業への協力
- ・福島駅前交流・集客拠点施設整備基本計画策定委員会への出席